

公 民

1 研究のテーマ

(1) 研究テーマ

「指導と評価の一体化」を明確にした課題解決学習の実践と評価

(2) 研究のねらい

単元を通して、科目の目標を踏まえた評価規準を設定し、それを達成するために、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題の解決に向けて、資料を活用して、他者と比較しながら多面的・多角的に考察し、自らの考えを確立していくような課題解決学習をデザインする。また、その評価方法、「おおむね満足できる」状況(B)、「努力を要する」状況(C)への手立てを明確にする。

2 実践事例

(1) 単元指導計画

ア 科目名：現代社会

イ 単元名：現代の民主政治と政治参加の意義

ウ 単元の目標：現代の政治に関する現実社会の諸課題を、社会的事象の基本的な概念や仕組みを理解し、事実を基に協働して考察し、適切に判断することで、自らが新たな問いを設定し、その課題解決に向かう主体的な態度を養う。

エ 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
現実社会の諸事項について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	幸福、正義、公正などに着目して、主として法、政治に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面と関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定している。合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	政治参加と公正な世論の形成、地方自治に関わる現実社会の事柄や課題を基に、事柄や課題が整理されている。よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。

オ 単元の指導と評価の計画 ○「記録に残す評価」 ●「指導に生かす評価」

次	時	学習活動	関	思	技	知	評価のポイント・指導上のポイント
1	2	<p>【問い】地元選出議員はどのような活動をしているのか。</p> <p>【国会の運営と権限】 ○議会制民主主義の基本的な知識の習得</p>				○	国会に関する概念や理論について理解し、その知識を身に付けている。

		○国会の現状と課題 ・「国権の最高機関」を党議拘束から考える。	●		○		国会に関する資料から情報を適切に選択して、効果的に利用している。
2	2	<p>【問い】小田急線を田名まで伸ばすためにはどのような手続きが必要か。</p> <p>【内閣と行政の民主化】 ○内閣の権限と国会との関係に関する基本的な知識を習得する。 ○行政の民主化のために必要なことは何かを考える。 ・許認可制度と行政機能の拡大について考える。</p>				○	<p>内閣に関する概念や理論について理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>内閣に関する考え方を様々な立場・考え方を踏まえ、判断している。</p>
3	2	<p>【問い】津久井やまゆり園事件は私たちに何を伝えているのか。</p> <p>【裁判所と人権保障】 ○司法権の独立の考え方と、憲法の番人としての裁判所の権限について基礎的な知識を習得する。 ○人権を保障し、公正な裁判をおこなうために国民がどのように関わるかを考える。 ・裁判員制度について考える。</p>				○	<p>司法制度に関わる課題を基に、権利や自由が保障・実現されていくことについて理解している。</p> <p>司法参加の意義を通して、社会の秩序が形成・維持されていくことを理解している。</p>
4	2	<p>【問い】橋本駅周辺の大規模開発を進めるべきか。</p> <p>【地方自治と住民の福祉】 ○地方自治の意味と地方自治発展のための課題について考える。 ○地域社会の一員としてどのように地方自治に参加できるか考える。</p>				○	<p>地方自治に関する概念や理論について理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>地方自治に関する諸課題について、他者との意見の比較を通して、多角的に考察している。 地方自治に関する諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>
5	2	<p>【問い】神奈川14・16区にはどのような課題があるか。</p> <p>【選挙制度の形成と政治参加】 ○国会議員の選挙制度のしくみを理解する。 ○現代の選挙制度がどのような課題をかかえているか考える。</p>				○	<p>政治参加に関わる課題を基に、各人の合意形成を通してよりよい社会が築かれることについて理解している。</p> <p>政治参加に関する諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>
6	1	<p>【問い】発展していく相模原市、私たちができることは何か。</p> <p>【世論の形成と政治参加】 ○政党や圧力団体をもつ役割を理解する。 ○私たちが政治に参加する方法について考える。</p>				○	<p>公正な世論の形成に関わる現実社会の事柄や課題を基に、各人の合意形成を通してよりよい社会が築かれることについて理解している。</p>

カ 授業実践例 (2時間目/2時間)

学習活動 (指導上の留意点を含む)	評価の観点 (評価方法)
<p>1. 導入 (5分)</p> <p>○前回の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治の本旨 (住民自治) を確認。 ・橋本駅前の写真を掲示する。 <p>○本時の問いを提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【本時の問い】橋本駅周辺の大規模開発を進めるべきか。</p> </div>	
<p>2. 展開① (13分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【発問①】リニア開通にともなう大規模開発にはどのような期待と不安があるのか。</p> </div> <p>○事前にGoogleフォームによるアンケートを実施。 「橋本駅周辺の大規模開発で期待できること、不安なことをそれぞれ記入。」 →アンケート結果をClassroomにて共有。(3分)</p> <p>○相模原市リニア駅周辺まちづくりガイドラインをClassroomにて提示する。(3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人と期待と不安について話し合う。(2分) <p>【足し算シート①記入】(5分)</p> <p>(期待)の考え+(不安)の考え=<u>自分の考え</u>(期待と不安どちらの方が大きいか)</p>	
<p>3. 展開② (16分)</p> <p>○相模原市の課題を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究課題「わたしの町の現代社会」から生徒が挙げた相模原市内地域の現状と課題をピックアップして提示する。※橋本地区に住んでいる生徒だったら… ・市長選候補者の政策を比較する。(7分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【発問②】今、相模原市に必要な政策は何か。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人と相模原市に必要な政策について話し合う。(2分) <p>【足し算シート②記入】(7分)</p> <p>(地域の課題)の考え+(資料・他者)の考え=<u>自分の考え</u></p>	
<p>4. まとめ (16分)</p> <p>○本時のまとめと振り返り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【本時の問い】橋本駅周辺の大規模開発を進めるべきか。</p> </div> <p>【足し算シート③ (本時の問い)】記入(7分)⇒指名にて共有(4分)</p> <p>(発問①の考え)+(発問②の考え)=<u>自分の考え</u></p> <p>○地方自治の本旨を確認 ※相模原市のパブリックコメントを示す。(2分)</p> <p>○自問自答シートに新たな問いを記入する。(3分)</p> <p>※書ききれない場合は、次回までの課題とする。</p>	<p>足し算シート 【思考・判断・表現】</p> <p>自問自答シート 【関心・意欲・態度】</p>

研究実施校：神奈川県立相模田名高等学校(全日制)

実施日：令和5年10月30日(月)

授業担当者：松村 貴志 教諭

(2) 「指導と評価の一体化」の視点を踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導と評価のポイント

ア 主体的・対話的で深い学びについて

『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説公民編』の「公共」大項目のBでは、高等学校学習指導要領(平成30年告示)(以下、「学習指導要領」という)に示された事柄や課題それぞれについて「現実社会の諸課題に関わる主題を設定し、(中略)公共的な空間における基本的原理などを活用して、他者と協働しながら主題を追究したり解決したりする学習活動を行う」とある。そこで、主題を、単元を貫く問い「私たちはどのように地域社会(相模原市)の発展に関わっていくべきか」と設定し、各時の学習活動を自らの生活に密接したものとして本単元を構成した。本時は「政治参加と公正な世論の形成及び地方自治」について自ら生活する地域での具体的な事例を考察することを研究の目的とした。

本時の授業では、「他者の意見と比較し、さまざまな考え方の中で多角的な視点を持ち、自己の考えを確立していく姿勢を養う。また、地方自治の本旨のもと、地域社会の一員として地域の課題とその解決に主体的に関わることで、将来の意思決定や行動選択の足掛かりとする」という学習目標のもと、問いを「橋本駅周辺の大規模開発を進めるべきか」と設定し、リニア事業における橋本駅周辺の大規模開発の是非について考察した。その際、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、生徒たち自身の視点をできるだけ多くの場面で活用し、地域課題を「自分事」として捉えられるようにした。そして、さまざまな資料の比較や他者との意見交換をしながら、自らの考えを確立していくよう授業構成を組み立てた。

イ 「指導と評価の一体化」について

学習指導要領の「公共」大項目Bの内容の取扱いでは、「現実社会の諸課題に関わり設定した主題について、個人を起点に他者と協働して多面的・多角的に考察、構想する」とある。そこで、自らの思考が確立していく過程を記録するためのワークシートの必要性を感じ、「足し算シート」(図1)を作成した。これは、個人の思考を基に、諸資料などを通じて得た多角的な考え方を通して、自らの思考がどのように変わっていったのかを記録し、その結果を表現するためのシートであり、「思考・判断・表現」の評価材料とした。また、「関心・意欲・態度」を評価するために「自問自答シート」(図2)を作成した。このシートは、生徒自身が授業内容から感じた疑問点を新たな問いとして設定し、自らその問いについて考察したり構想したりすることで「関心・意欲・態度」を評価するシートである。単元の終わりには、単元を貫く問いについて「単元まとめシート」(図3)で、単元を総括した。これらのシートをGoogleスプレッドシート上で一つのファイルにまとめ、ポートフォリオのように活用することで、「思考・判断・表現」と「関心・意欲・態度」を評価することとした。

また、来年度に向けた提案として、今回「関心・意欲・態度」で見取った評価部分を「主体的に学習に取り組む態度」として見取ることができると考える。例えば、「自問自答シート」により、「よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度」について評価を行う。本時の授業内容を振り返り、生徒自ら新たな問いを立てて答えを考えていくことで、現代の諸課題について主体的に追究して、意欲的に解決しようとする態度を評価できる。また、「単元まとめシート」により、「自らの学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む状況」について評価を行う。単元の導入で示した学習の見通しを踏まえ、単元の最初と終末における「単元を貫く問い」に対する生徒の記述内容の変化により評価を行うことが考えられる。

それぞれのシートの「おおむね満足できる」状況(B)は次の通りである。

足し算シートの「おおむね満足できる」状況(B)【思考・判断・表現】

現代の諸課題について、他者の意見との比較を通して、多角的に考察し、具体的な論拠に基づいて表現している。

自問自答シートの「おおむね満足できる」状況(B)【関心・意欲・態度】

単元を通して現実社会の諸事項について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題に関する新たな問いを自ら設定しようとしている。

ウ 本時の授業について

本授業では、本時の問い「橋本駅周辺の大規模開発を進めるべきか」を考察するにあたり、二つの発

問を軸に進めた。展開①では、発問①「リニア開通にともなう大規模開発にはどのような期待と不安があるのか」についての考えを深めることとした。ここでは事前にアンケートを行い、その結果をもとに、期待と不安という二つの側面を、アンケート結果を参考に比較しながら、どちらの立場をとるのか考えさせた。展開②では、自らの考えや地域課題、社会全体の利益をどのようにバランスをとっていか考えることをねらいとした。そこで、1学期に課した探究課題から生徒自身が設定した地域課題を、地方財政に触れながらいくつかピックアップし、自ら住む地域の課題に着目させた。地域課題については、環境面・防災面・経済面・交通面・公衆衛生面など一つに偏らないよう留意した。また、それらに加えて相模原市全体としての視点を令和5年4月に行われた市長選候補者全員の主張を参考に比較するなど、多角的な視点を持てるようにし、発問②「今、相模原市に必要な政策は何か」について考えさせることとした。これらの思考を整理し、最後に本時の問い「橋本駅周辺の大規模開発を進めるべきか」について考えることで学習の総括とした。それぞれの問いについては「足し算シート」に記入することで思考の過程を文章化し、結果をまとめた。

次は「足し算シート」のまとめ部分と「自問自答シート」それぞれにおける、「おおむね満足できる」状況(B)と考えられる生徒の記述と、「努力を要する」状況(C)と考えられる生徒の記述と支援例である。

・「足し算シート」のまとめ部分（思考・判断・表現）

「おおむね満足できる」状況(B)と考えられる生徒の記述

橋本駅周辺の開発や地域の課題について考えた。交通の面では便利になるため、いいと思ったが駅周辺に住む住民の立場で考えると騒音問題であったり、不満に思う点があると思った。また、自分は最寄り駅ではないため使用頻度は多くないし、観光しに来るような場所でもないから、他県の人が溢れて賑わう様子は想像できないと思った。発展するのはいいが、よくなる保証がなければ、ここにお金を使うのではなくもっと身近な問題を解決する必要があると思った。期待もあるが不満もある。

この生徒の記述は、交通面の利便性を期待できる点として挙げているが、他者の意見を通して近隣住民の騒音問題に気付けたこと、また、開発を進めたとしても観光面や財政面に課題を抱えていることに着目し、多角的に考察しようとしている姿勢が読み取れ、「おおむね満足できる」状況(B)であると考えられる。

「努力を要する」状況(C)と考えられる生徒の記述と支援例

地方と住民について学習し、自治の中でも意見が割れているということがわかった。最初期待する方の意見を持っていたが、期待と不安の両方の意見を聞いて不安側の意見のほうが納得できた。地域問題が解決していないし、栄えるのかもわからないから今はまだ進めるべきではないと思う。

この生徒の記述の場合、他者の意見や資料について具体的な記述が示されていない。地域課題についても具体性がなく、「努力を要する」状況(C)と判断される。このような生徒に対しては、学習内容を振り返り、多角的な考察をするよう促すとともに、より具体的な記述をするよう助言することにより、次の学習内容での改善を図っていきたい。また、生徒への支援だけでなく、より多くの生徒が多面的に考察できるような「問い」を設定するなど、単元や授業の計画を改善していくことも必要である。

・「自問自答シート」（関心・意欲・態度）

「おおむね満足できる」状況(B)と考えられる生徒の記述

橋本以外にもリニアが通っている駅があると思うが、その駅はどのように開発や騒音問題、金銭的な問題を解決したのか。

単元の途中であるため、これまでの学習を振り返るとともに、継続的で発展的な学習を促すことを目的に確認し、評価につなげたい。この生徒の記述の場合、本時の授業を振り返り、新たな視点でより発展的な問いを設定することができている。授業内容にとどまらず、継続的に考察し、学習内容を深めようとしていることが読み取れるため、「おおむね満足できる」状況(B)と考えられる。

「努力を要する」状況(C)と考えられる生徒の記述と支援例

橋本駅周辺の開発を行う上で、それをすることで何が期待されるのか疑問に思った。

この生徒の記述の場合、問いが立てられているように見えるが、開発による期待と不安については授業内で触れている点であり、新たな問いとしては不十分であると考え、「努力を要する」状況(C)であると判断した。このような場合には、学習内容を振り返ることで思考の過程を再確認し、学習の改善を図っていききたい。

エ 授業の振り返りと「指導と評価の一体化」について

本授業では、複数クラスで行った事前アンケートの結果や探究課題を資料として活用した。生徒の中から出された意見や考え方を参考にすることで対話が生まれるとともに、自分の考え方との比較ができたといえる。

本授業における目標は前述の通りであるが、目標の一つである「地域社会の一員として地域の課題とその解決に主体的に関わる」という点では不十分であった。地域課題についてさまざまな資料のもとで考えさせたが、「足し算シートまとめ」では「市はもっと住民の意見を聞くべきである」といった内容の記述が多く、主体的という面で疑問が残った。この課題を解決するためには、「単元を貫く問い」を常に意識させることが挙げられる。また、単元を通して生徒に身に付けさせたい力を前提とした授業改善を図っていかなければならない。

研究のテーマである「指導と評価の一体化」について、特に留意したのが「評価のための授業」になっていないかという点である。あくまでも生徒に身に付けさせたい力を前提とした上で、単元を通しての学習活動を構成していく必要があり、それぞれの学習内容が単元の中でどのような位置付けになっているかを考えながら、授業を組み立てていかなければならない。また、毎回の授業での評価は評価業務に追われることになりかねないため、評価する場面を精選して設定する必要があるだろう。単元の中で学習活動と評価場面を適切に計画することが大切である。また、評価方法について、本授業では、「関心・意欲・態度」(主体的に学習に取り組む態度)と「思考・判断・表現」を、ポートフォリオを活用して評価した。生徒に他者との意見の比較を通して考察させ、自らの思考を表現する課題、自らの学習を振り返って新たな問いを設定する課題を課すことで、育成を目指す資質・能力に対して適切な評価ができるよう工夫したが、表現することを苦手とする生徒へのフォローが今後の課題であり、次の学習活動へつなげる支援をさらに改善していききたい。

足し算シート～○ + ○ = わたしの考え～

【 単元名 】 現代の民主政治と政治参加の意義

【 単元を貫く問い 】 私たちはどのように地域社会(相模原市)の発展に関わっていくべきか

[学習日]

[本時の問い]

[目標]

発問①：

()の考え		()の考え		わたしの考え
	+		=	

発問②：

()の考え		()の考え		わたしの考え
	+		=	

本時の問い

まとめ				

図 1 足し算シート

自問自答シート

【 単元名 】 現代の民主政治と政治参加の意義

【 単元を貫く問い 】 私たちはどのように地域社会(相模原市)の発展に関わっていくべきか

本時の問い：

目標：

疑問に思ったこと（新たな問い）	→	新たな問いへの答え

本時の問い：

目標：

疑問に思ったこと（新たな問い）	→	新たな問いへの答え

本時の問い：

目標：

疑問に思ったこと（新たな問い）	→	新たな問いへの答え

図2 自問自答シート

単元まとめシート

【 単元名 】 現代の民主政治と政治参加の意義

【 単元を貫く問い 】 私たちはどのように地域社会(相模原市)の発展に関わっていくべきか

発問：単元を振り返ってみよう。

学習前の考え	→	学習内容まとめ	→	学習後の考え

図3 単元まとめシート